猪之鼻奨学会

猪之鼻奨学会報　第 23 号　　題字　井出源四郎（第八代千葉大学学長）

編集発行者
公益財団法人
猪之鼻奨学会
千葉市中央区亥鼻１丁目８番１号
〒260-8670　千葉大学医学部内
電話　043－226－2509　内線 5024

創　立　1915年（大正４年）

研究のモチベーションと「治療学」研究の推進

千葉大学大学院医学研究院長・医学部長　教授
千葉大学未来医療教育研究機構　機構長・副学長
中　山　俊　憲

医学部、薬学部、看護学部と医学部附属病院の医療系の部局がコンパクトに結集している亥鼻キャンパスには、長年にわたり国内外に数多くの教授や病院長、部長など医療界にリーダーを輩出してきた実績があります。この地において我々は、「治療学」をキーワードに最先端の治療薬・治療法の研究開発を進めるとともに、超高齢化社会を迎えた我が国で具現されるあらたな形態の医療のもとで患者目線にたった医療の実践に貢献できる医療人、特にリーダーの育成を目指しています。医学研究院、薬学研究院、看護学研究科が協働して推進している、リーディング大学院プログラム（平成24～平成30年度）では、関連の大学院生に奨学金を与えて研究に専念できる環境を整えて参りました。

生命科学研究のモチベーションは研究者自身に沸いてきた素朴な疑問に答えを出したい、という個人的な知的好奇心に因ることがほとんどです。そして研究をする過程で、ある「発見」に出あうと、知的好奇心が満たされ、「この事実を知っているのは世界中で自分だけ」、といった一種の特別な知的快感（知的エクスタシー）を経験することになります。その発見がどの程度のものであるかは、あまり関係ありません。もう一度「発見」したいという願望にかわり、それが研究を継続する原動力になります。幸運にも2度目の「発見」をすると、その願望はさらに強いものになっていきます。良い意味での依存性を帯びてくるのだと思います。この研究活動の最初の知的好奇心を満たすためには、少額でもやりたい研究ができる自由度の高い研究費が必要です。そういった意味で、猪之鼻奨学会のような奨学金制度は非常に有意義です。医学研究者であれ臨床医であれ、若いときにいただいた奨学金や研究助成金は決して忘れることはありません。将来、様々な形で患者様のための医療に役立つことでしょう。これからも猪之鼻奨学会の奨学金制度がさらに拡充し、亥鼻キャンパスに集う医療系の若手の研究者を応援していただけることを強く希望しております。

お金と奨学金　今と昔

千葉大学大学院薬学研究院　教授
公益財団法人猪之鼻奨学会　監事
森　部　久仁一

キャッシュレス化に伴い、現金通貨を使用せず決裁する機会が増えている。今後、現金通貨を知らない世代が生まれてくるかもしれない。キャッシュレス化で手間や負担が減るのは確かであり、支払い時に高額紙幣しか手持ちがなく、硬貨が増えて後悔することもなくなる。我が家はキャッシュレス化に完全に対応しきれていないが、お金に対する経済感覚を身につけた上で、キャッシュレス化に対応したいものである。

奨学金制度やそれに対する考え方も一昔前とだいぶ異なる。成績優秀かつ学資の支弁が困難なのが応募資格で、私も千葉大学大学院入試の時だけは製剤工学研究室に残れるよう勉強してそれ相応の結果を残せたが、奨学金の貸与は叶わなかった。また、昔気質の親に収入証明書の提出を説得するのが大変苦労した。当時は、将来教員や公務員として一定期間働けば返還免除という話もあり、奨学金の貸与を受けた人も多いと思う。最近は職種による返還免除はないものの、特に優れた業績により返還免除になるケースがある。

奨学金は以前と比べて受給率・延滞率ともに高くなったという話を聞く。奨学金には給付型や利子の有無による貸与型など様々な種類があり、学生は状況に応じて応募し奨学金を受給している。勉学に励んだ学生が報われるのが一番望ましいが、はたして本当に必要な学生が奨学金の支給を受けているだろうか。また、奨学金の種類や将来のリスクを含め内容を確認した上で応募しているだろうか。情報弱者という言葉だけで片付けられない問題である。経済・社会状況も一昔前と異なるため一概に比較できないが、その時本当に必要とする学生に適したタイプの奨学金が設けられ、給付・貸与されることを願うばかりである。

猪之鼻奨学会の研究助成は医薬系の一般・若手常勤研究者に対して、奨学金の貸与は学部・大学院の学生に対して行われています。事業の大半は寄附金で運営されており、今後も皆様からの継続的なご支援が必要です。将来の医学薬学研究を担う、助成金・奨学金を切に希望している若者へご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

ご寄付のお願いと寄付金の税額控除のお知らせ

猪之鼻奨学会は、大正４年（1915年）に創立されて以来、多くの方々からの善意の寄付金により奨学事業並びに研究助成事業を実施してきております。

平成24年４月１日「公益財団法人」として、新たにスタートした猪之鼻奨学会は、「定款」に謳いますよう、医学及び薬学の研究を奨励することを目的として、研究事績の優秀な者に研究費の補助、そして学資の欠乏を告げた学生に学資の貸与を行ないます。これらの事業を遂行するために、どうか皆さまのご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

一口5,000円ですが、ご都合により何口でも結構です。

同封の郵便振替用紙にてお振込み下さい。

なお、「特定公益増進法人化にともなう寄付金の税額控除」に関しては、公益財団法人へ移行したことにより、本会が税制上の優遇措置の対象となる特定公益増進法人となりました。従って、個人によるご寄付の場合、所得の40％を上限として、ご寄付金額から２千円を差し引いた金額が、その年の課税所得から控除されます。法人によるご寄付の場合、一般の寄付金とは別枠で、特別損金算入限度額まで、損金の額に算入することが認められます。

今後とも、皆様方の一層のご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

公益財団法人猪之鼻奨学会　理事・評議員一同

平成30年度　公益財団法人猪之鼻奨学会事業報告

自 平成30年４月１日　至 平成31年３月31日

１．事業の状況

⑴ 研究助成金（180万円）の助成　　内訳　各30万円　一般の部　５件　　若手の部　１件

一般の部

所　　属	研究領域	氏　　名	研　　究　　課　　題
千葉大学医学部附属病院	整形外科学	稲毛　一秀	骨壊死に関する抗RANKLモノクロナール抗体製剤デノスマブ投与における治療効果と副作用に関する臨床的探索試験 ―第Ⅰ，Ⅱ相試験―
千葉大学医学部附属病院	画像診断	横田　　元	再帰的皮質ネットワークを利用したMR angiographyに対する脳動脈瘤検知システムの開発
千葉大学大学院医学研究院	血液内科	塚本　祥吉	病的形質細胞の遺伝子解析による原発性ALアミロイドーシスの分子病態解明
東京理科大学研究推進機構生命医科学研究所	分子病態学	櫻井　雅之	ゲノム＆RNA編集酵素ADAR1が司るR-loop制御によるゲノム安定性維持機構
千葉大学大学院薬学研究院	有機化学	原田　慎吾	バイオ触媒を用いた生体性機能分子の網羅的合成法の開発

若手の部

所　　属	研究領域	氏　　名	研　　究　　課　　題
千葉大学大学院薬学研究院	薬学	米田　友貴	ペンタフィリンを用いた赤外光による光線力学療法

⑵ 奨学金（60万円）の貸与　１件60万円

貸与者なし

⑶ 会報発行　12,500部

医学部　8,000部

薬学部　4,500部

収　支　内　訳　書

平成30年４月１日～平成31年３月31日

公益財団法人猪之鼻奨学会　　（単位：円）

	科　　目	当年度	前年度	増　減	備考
収入の部	１．基本財産運用収入				
	基本財産利息収入	5,840	282,800	△ 276,960	
	事業収入	0	0	0	
	２．寄付金収入				
	寄付金収入	4,476,000	4,100,000	376,000	
	３．貸付金回収収入				
	貸付奨学金回収収入	300,000	0	300,000	
	４．雑収入				
	受取利息	7	101,031	△ 101,024	
	当期収入合計	4,781,847	4,483,831	298,016	
支出の部	１．事業費				
	研究助成金	1,800,000	1,800,000	0	
	貸付奨学金	0	600,000	△ 600,000	
	事業費合計	1,800,000	2,400,000	△ 600,000	
	２．管理費				
	給　料	843,660	869,312	△ 25,652	
	旅費・交通費	93,080	101,430	△ 8,350	
	手当・謝金	50,000	50,000	0	
	事務備品費	0	23,747	△ 23,747	
	消耗品費	32,175	21,235	10,940	
	印刷費	191,972	188,300	3,672	
	交際費	10,000	0	10,000	
	賃借料	35,355	35,355	0	
	通信運搬費	33,852	26,318	7,534	
	会議費	14,456	11,385	3,071	
	支払手数料	257,040	246,240	10,800	
	ホームページ関連費	43,200	43,200	0	
	租税公課	2,695	18,271	△ 15,576	
	記念品費	0	12,997	△ 12,997	
	修繕費	16,783	0	16,783	
	雑　費	70,499	68,551	△ 12,997	
	管理費合計	1,694,767	1,716,341	△ 36,519	
	当期支出合計	3,494,767	4,116,341	△ 636,519	

貸　借　対　照　表

平成31年３月31日現在

公益財団法人猪之鼻奨学会　　（単位：円）

科　　目	当年度	前年度(注)	増　減(注)
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
現金預金			
現　金	4,490	2,097	2,393
普通預金	1,049,817	765,128	284,689
流動資産合計	1,054,307	767,225	△ 950,817
２．固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産有価証券	0	0	0
基本財産預金	60,030,800	60,030,800	0
土　地	0	0	0
基本財産合計	60,030,800	60,030,800	0
(2) 特定資産			
貸付奨学金	2,400,000	2,700,000	△ 300,000
研究助成基金	14,000,000	13,000,000	1,000,000
特定資産合計	16,400,000	15,700,000	700,000
(3) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	76,430,800	75,730,800	700,000
資産合計	77,485,107	76,498,025	987,082
Ⅱ　負債の部			
１．流動負債			
未払金	0	0	
預り金	0	0	
賞与引当金	0	0	
流動負債合計	0	0	0
２．固定負債			
退職給付引当金	0	0	
修繕引当金	0	0	
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
Ⅲ　正味財産の部			
１．指定正味財産	76,950,643	75,080,642	1,870,001
２．一般正味財産	534,464	1,417,383	△ 882,919
正味財産合計	77,485,107	76,498,025	987,082
負債及び正味財産合計	77,485,107	76,498,025	987,082

公益財団法人 猪之鼻奨学会寄附金結果報告

千葉大学医学部・薬学部同窓会員
および関係者各位

平素より公益財団法人猪之鼻奨学会の事業につきましては、多くの方々の深いご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

平成30年度に実施されました寄附金は、下記のように、大勢のご賛同とご協力が得られました。ここにご報告させていただきます。

ご寄付いただきました金員は、当奨学会の事業費として有効に活用させていただきたいと存じます。お蔭様を持ちまして平成30年度における助成件数は6件で、総額180万円の研究助成金を交付することができました。

今後も、皆様方の暖かいご支援とご指導をいただきながら当奨学会の発展に理事・評議員共に更なる努力を重ねる所存です。ここに深甚なる謝意を表するとともに、皆様方のご健勝とご発展を祈念申し上げます。

記

寄附件数　百六十件
寄附総額　四百四十七万六千円

令和元年五月一日
公益財団法人猪之鼻奨学会
理事・評議員一同

高額寄付者御芳名録（平成30年度）

（敬称略）

秋葉哲生　千葉県
黄田悦子　東京都
熊谷哲夫　千葉県
草刈　隆　千葉県
軍司祥雄　千葉県
香田真一　千葉県
小屋佐久次　群馬県
佐藤兼重　東京都
嶋田俊恒　千葉県
高橋　康　埼玉県
髙木一也　千葉県
中村和則　千葉県

中村伸子　千葉県
服部孝道　千葉県
馬場紀子　東京都
平嶋　毅　千葉県
宮原弘次　埼玉県
山中悠子　千葉県
横井邦一　埼玉県
七夕の会
昭和61年卒同窓会
薬友会
ゐのはな同窓会

平成30年度寄附者名簿（敬称略）

氏名	都道府県
天海照夫	栃木県
新井　正	東京都
阿部倫子	茨城県
朝岡威親	千葉県
浅野武彦	東京都
安藤吉治	神奈川県
市川智彦	千葉県
石川達雄	千葉県
和泉佳子	千葉県
伊藤　博	千葉県
飯田昌志	東京都
今泉絢子	愛知県
岩倉弘毅	東京都
伊藤達雄	東京都
遠藤裕久	埼玉県
遠藤　毅	千葉県
奥村　康	千葉県
奥田桂子	千葉県
小野幸雄	茨城県
大友一夫	埼玉県

氏名	都道府県
小田健司	千葉県
冲永聡子	東京都
落合武徳	千葉県
加藤　功	千葉県
神田　收	千葉県
加藤直也	東京都
門脇　淳	栃木県
加来俊貞	千葉県
神谷　努	茨城県
門山周文	東京都
片倉　透	千葉県
河村和子	千葉県
菊池義公	埼玉県
北野隆司	神奈川県
菊池周一	千葉県
窪田叔子	千葉県
倉持宏明	千葉県
熊谷　仁	千葉県
栗山節子	東京都
小泉準三	茨城県

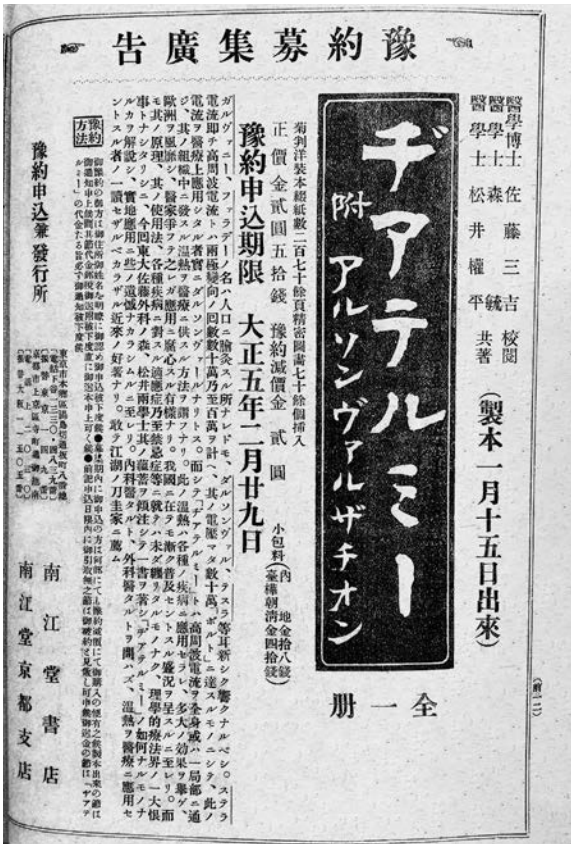
氏名	都道府県
神戸敏行	福島県
幸部吉郎	千葉県
小林千鶴子	千葉県
小林弘忠	千葉県
小山隆一郎	東京都
金　民世	東京都
佐野迪雄	東京都
佐藤正俊	北海道
佐久川輝章	千葉県
佐藤忠夫	茨城県
砂田荘一	千葉県
五月女　隆	千葉県
獅子原薫子	東京都
嶋田哲男	千葉県
島崎　淳	千葉県
須藤壮一郎	千葉県
諏訪園　靖	千葉県
鈴木敏幸	神奈川県
鈴木健文	東京都
鈴木文晴	東京都
瀬田勝雄	千葉県
宗永　元	千葉県
田島寛之	千葉県
竹内　達	千葉県
田垣内祐吾	千葉県
橘　正道	千葉県
田中則好	千葉県
高山直秀	東京都
千葉胤道	千葉県
徳久剛史	千葉県
中嶋弘道	千葉県
長尾啓一	千葉県
中田正子	京都府
中村和郎	千葉県
二村静子	静岡県
西原尚史	東京都
新倉春男	東京都
野口眞利	東京都

氏名	都道府県
野溝春子	長野県
野原智恵子	埼玉県
萩巣敏子	千葉県
林　雅意	千葉県
花輪孝雄	山梨県
原　賢子	長野県
久田俊和	長野県
久田恵子	長野県
平山恵子	茨城県
古木　新	千葉県
古屋右内	神奈川
藤本重義	神奈川県
古川　斎	千葉県
深尾　立	茨城県
松前　元	北海道
前田昌利	千葉県
増村道雄	兵庫県
丸田哲郎	千葉県
三上恵只	千葉県
宮崎　勝	千葉県
水鳥川俊夫	千葉県
道永幸治	東京都
向後新四郎	千葉県
諸岡信裕	千葉県
森田暁洋	神奈川県
森川眞一	千葉県
矢田洋三	千葉県
山田善重	千葉県
山本博憲	高知県
山本恵司	千葉県
山本友子	千葉県
安田耕作	千葉県
吉井　功	千葉県
渡辺和夫	千葉県
若新洋子	千葉県
若新政史	千葉県

平成三十一年三月三十一日現在

猪之鼻奨学会の歴史資料

本奨学会の長い歴史の証左となる貴重な資料の一部をご紹介申し上げます。今号では〔奨學會寄附金申込領收報告〕より広告ページを掲載します。


豫約募集廣告

醫學博士 佐藤三吉 校閲
醫學士 森 銑 共著
醫學士 松井權平

ヂアテルミー附アルソンヴァルザチオン

（製本一月十五日出來）

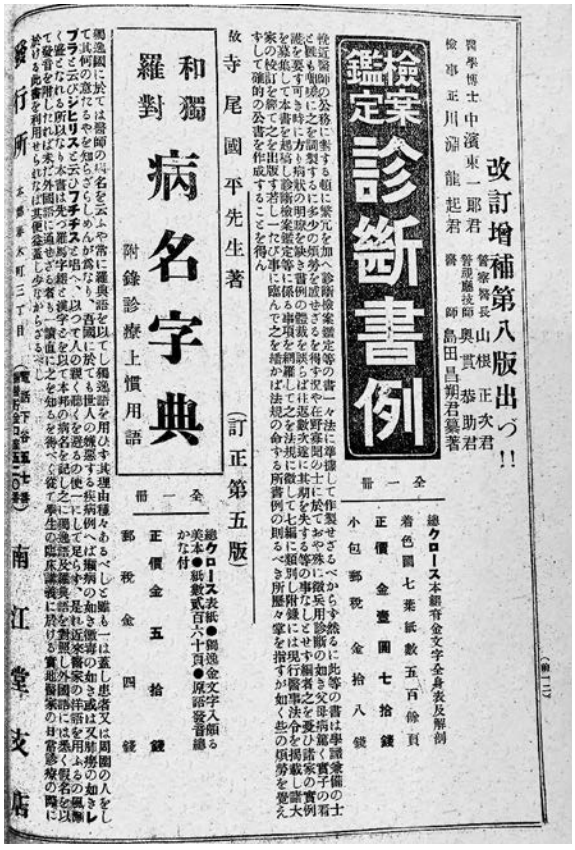
全一冊

菊判洋裝本總紙數二百七十餘頁精密圖畫七十餘個挿入
正價金貳圓五拾錢　豫約減價金　貳圓
小包料（內地金拾八錢）（臺湾朝清金四拾錢）

豫約申込期限　大正五年二月廿九日

ガルヴァニー、ファラデーノ名ハ人口ニ膾炙スル所ナレドモ、ダルソンヴァル、テスラ等其新シク驚クヘキ電流即チ高周波電流トハ兩極疑向ノ回數數十萬乃至百萬ヲ計ヘ其ノ電壓マタ數十萬ボルトニ達スルモノニシテ、此ノ電流即チ醫療上應用シタルモノニ發スルガ如キ温熱ヲ醫療ニ供スル方法ヲ謂フナリ。而シテ「ヂアテルミー」トハ高周波電流ヲ全身或ハ一局部ニ通ジ、其ノ組織中ニ發スルガ如キ温熱ヲ醫療ニ供スル方法ヲ謂フナリ。此ノ温熱ハ各種ノ疾病ニ應用セラレ、多大ノ効果ヲ擧ゲ、歐洲ノ風潮ハ醫家等ヲシテ之ヲ心ヲ傾ケシメタリ。我國ニ於テモ漸ク普及セントスルノ機運ニ向ヒ、今回ハ其ノ原理、其ノ使用法、各種疾病ニ對スル適應症乃至禁忌症等ニ就キ本ダ輯リタルモノナリ。大抵事ナキタリシニ、今回ハ外科ノ森、松井兩學士ノ著ヲ注シテ、内科醫タルト、外科醫タルトヲ問ハズ、温熱ヲ醫療ニ應用セルカヲ解説シ、實地應用ニ些ノ遺憾ナカラシムルニ至リ、内科醫タルト、外科醫タルトヲ問ハズ、温熱ヲ醫療ニ應用セルノ一讀セザルベカラザル近來ノ好著ナリ。敢テ江湖ノ刀圭家ニ薦ム

豫約申込兼發行所　南江堂書店　南江堂京都支店


改訂增補第八版出づ!!

醫學博士 中濱東一郎君 校閲
醫學士 奥貫恭助君 著
醫學士 島田昌朔君 著

檢査鑑定診斷書例

全一冊

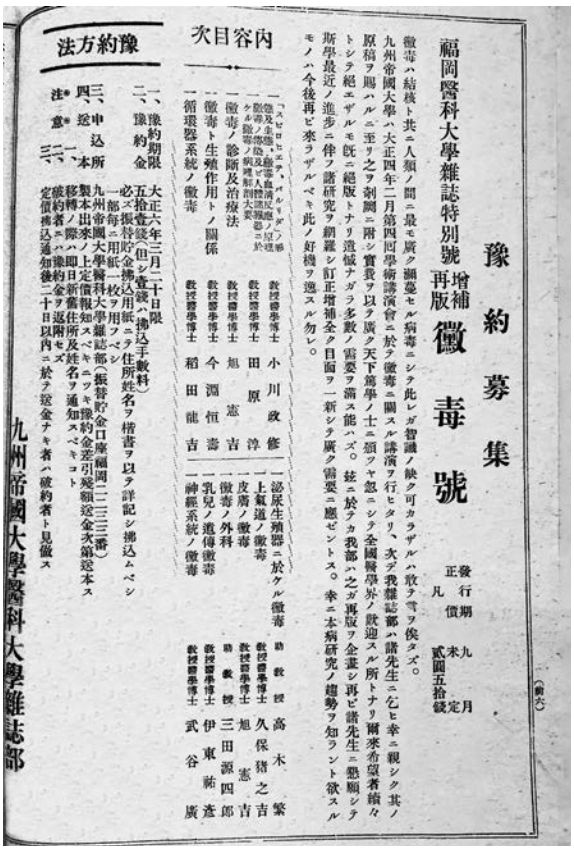
總クロース本銀背金文字金身表及解剖着色圖七葉紙數五百餘頁
正價金壹圓七拾錢
小包郵稅金拾八錢

和獨羅對病名字典

附錄診療上慣用語

全一冊

總クロース表紙●鍍金文字入傾る美本●紙數百六十頁●原語發音付かな付
正價金五拾錢
郵稅金四錢


豫約募集

福岡醫科大學雜誌特別號　增補再版　黴毒號

發行期　九月末定
正價　貳圓五拾錢

黴毒ハ結核ト共ニ人類ノ間ニ最モ廣ク蔓延セル病毒ニシテ此ノガ智識ノ缺ク可カラザルハ敢テ多ヲ俟タズ。

九州帝國大學ハ大正四年二月第四回學術講演會ニ於テ黴毒ニ關スル講演ヲ行ヒタリ、次デ我雜誌部ハ諸先生ニ乞ヒ幸ニ親シク其ノ原稿ヲ賜ハルニ至リ之ヲ刻調ニ附シ實費ヲ以テ廣ク天下篤學ノ士ニ頒ツヤ忽チニシテ全國醫學界ノ歡迎スル所トナリ爾來愈愈著積々トシテ絶エザルモ既ニ絶版トナリ遺憾ナガラ多數ノ需要ヲ滿スル能ハズ。茲ニ於テカ我部ハ之ガ再版ヲ企畫シ再ビ諸先生ニ懇願シテ斯學最近ノ進歩ニ伴フ諸研究ヲ網羅シ訂正增補全ク目面ヲ一新シ廣ク需要ニ應ゼントス。幸ニ本病研究ノ趨勢ヲ知ラント欲スルモノハ今後再ビ來ラザルベキ此ノ好機ヲ逸スル勿レ。

内容次目

「スピロヒエテ」、「バルミ」ノ發見及生態、黴毒ノ發生ニ關スル諸問題、黴毒ノ發生ニ關スル諸問題、黴毒ノ發生ニ關スル諸問題、黴毒ノ發生ニ關スル諸問題　教授醫學博士　小川政修
黴毒ノ診斷及治療法　教授醫學博士　田原淳
黴毒ノ生殖作用トノ關係　教授醫學博士　旭憲吉
循環器系統ノ黴毒　教授醫學博士　今淵恒壽
教授醫學博士　稲田龍吉
泌尿生殖器ニ於ケル黴毒　教授醫學博士　高木繁
上氣道ノ黴毒　教授醫學博士　久保猪之吉
皮膚ノ黴毒　教授醫學博士　旭憲吉
黴毒ノ外科　教授醫學博士　三田源四郎
乳兒ノ遺傳黴毒　教授醫學博士　伊東祐彦
神經系統ノ黴毒　教授醫學博士　武谷廣

豫約方法

一、豫約期限　大正六年三月二十日限
二、豫約金　五拾壹錢（但シ壹錢ハ拂込手數料）必ズ振替貯金口座福岡一二三三番ニ振込ミ住所姓名ヲ楷書ヲ以テ詳記シ拂込ムベシ
三、申込所　一部毎ニ用紙一枚ヲ用フベシ　九州帝國大學醫科大學雜誌部（振替貯金口座福岡一二三三番）
四、送金　九州帝國大學醫科大學雜誌部ニ出來ル上定價報知スベキニツキ豫約金差引殘額送金ス次第送本ス
注意　一、本誌ハ豫約者ニハ即日新舊住所及姓名ヲ通知スベキコト　二、豫約者ニハ豫約金ヲ返附セズ　三、破約者ハ破約者ト見做ス
定價拂込通知後二十日以内ニ於テ送金ナキ者ハ破約者ト見做ス

九州帝國大學醫科大學雜誌部

合本出來

醫學博士 横手千代之助先生著

前篇第九版發行

○前篇第九版　正價金壹圓
○後篇第八版　正價金壹圓六拾五錢
○各冊郵稅金八錢

衛生學講義

全二冊

紙總數八百六十四頁●挿圖壹百四十五圖●石版著色圖五表三十圖合本
正價金參圓貳拾錢
包料（内地金八錢）（臺湾朝清金五錢）

醫學博士 緒方正規先生閲
醫學博士 横手千代之助先生著
醫學士 佐々木秀一著

增訂第三版

全二冊

菊判洋裝本總美麗上等箱入●紙數七百餘頁●著色圖數葉精巧寫眞版等四百合本
正價金參圓貳拾錢
包料（内地金六錢）（臺湾朝清金五錢）

病原細菌學

發行所　東京市本郷區春木町三丁目　電話下谷五七五番　東京市下谷區櫻木町二丁目　振替口座東京二〇五番　南江堂支店

編集後記

21世紀も中盤に差し掛かる中、人工知能・医療ロボット・遺伝子診断・遺伝子治療・抗体医薬・細胞医薬／再生医療・ゲノム編集などの技術革新の波が押し寄せ、病気の診断・治療が飛躍的に進展しています。亥鼻地区は2年以内に大きく変わり、野球場グランドに中央診療棟（地上8階地下1階）・リニアック棟（1階）及び医学系総合研究棟（11階）が新営され附属病院と一体化します。猪之鼻奨学会では、次世代を担う若手への研究助成「県内の医薬研究者（40歳未満5名程、35歳未満1名程）」と奨学金貸与「県内の医薬学部生／院生（1～2名）」を行っています。日本の未来は若い人達の熱気溢れる活力にかかっており、若手医学者や若い医薬研究者への支援は若手に自信を与えモチベーションの維持に役立ち、医学薬学の創造的先端研究の活性化を担う若手を育てます。何卒、皆様の猪之鼻奨学会へのご理解とご寄付・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

（理事　山口直人）